

2023 年春季 参加報告書

参加プログラム：SMEAG(TOEIC)

参加時の学年：1 年、学部：経済、学科：経済

もともと高校生の時から外国に興味があり、高校 2 年生で留学に行く予定だったがコロナの影響で中止になってしまった。そのため、大学では留学の夢を実現しようと思っていた。まずは家族と離れて 1 人で海外に行くことがどんなものなのかを知るために冬季休暇の短期で行こうと決めた。一番安価で行けること、そして授業時間が一番長かったためフィリピンを選択した。最初の 2 週間は家族や友達に会えない寂しさから LINE しながらよく泣いていたが、3 週目からは寂しさは無くなった。先輩方のこの参加アンケートを事前に読み、最悪を想像していたので「思ったよりも」という点が多かった。期待はせずに最悪を想像して出発することをおすすめする。エスニック系の食事が苦手な人は食が合わず大変な思いをするかもしれない。韓国系の味付けが多く、味が濃い。インスタントの味噌汁やカップラーメンは持って行って本当に良かったと思う。1 ヶ月は意外と行けるんじゃないかと思って出発したが日本食が恋しくなる。セブにも日本食料理店は多かった（少し高い）。

学校から出て街を歩くだけでも学ぶことが多かった。フィリピンでは貧富の格差が大きいと感じた。ホームレスの人を何人も見かけ、5 分歩くだけで複数人道で生活していた。学校の先生たちも話を聞くと決して裕福な生活をしているわけではなく、自分の日本で置かれている環境がいかに幸せなのかを実感した。日本との違い、文化を学ぶことができたのは海外に行き、現地で学ぶことのメリットだと思う。また、電気・水道代などの光熱費が非常に高いらしく、ブレーカーごと落として節電・節水するように言われていた。できるだけ使わないように意識していたため、節電精神が身についた。当たり前のように家があり、そこで水道電気が気兼ねなく使えて、美味しいご飯がいつでも食べられて、蛇口から出る水を飲むことができること、日本で当たり前感じていたことがフィリピンでは何も当たり前ではなく、これらのことをできない生活を体験し、これらができない人を何人も目にした。留学中、何度も日本人であることに感謝をするほどだった。この気づきもずっと日本にいただけでは考えも気づきもなかったことだと思う。1 ヶ月間本当に辛かったが、貴重な経験ができた。

勉強に関しては授業が全部英語だったため、リスニング能力が一番伸びた。最初はネイティブのスピードについていけず、毎回聞き返していたが、だんだん一回で聞き取れるようになった。また、TOEIC は文法に力を入れた授業が多かったので文法の理解力が伸び、リーディングは自分でわかるくらい上達したと思う。スピーキングに関してはアンケートの方でも答えたが、最初は全く自分から話すことができず、あのまま過ごしていたら本当に何も変わらずに帰国してしまっていたと思うが、それに気づき、自分から話すようになってからはスラスラ話せるまでではないが、自分の気持ちを相手に伝えることができるようになった。そこから会話でよく使う表現を使いながら覚えたりネイティブの人の表現を学んだり話すようになってからのほうが学ぶことが多かった。毎週木曜日の模擬テストは 200 点近く上がった。

1 ヶ月間勉強詰めだったため、この勉強を続けていきたいと思う。今回の短期留学の経験から、長期の留学にも興味が出てきたため、英語の勉強を継続していき、語学力を伸ばしていきたい。